

林野庁

林野庁について	お知らせ	政策について	申請・お問い合わせ	国有林野情報
---------	------	--------	-----------	--------

[ホーム](#) > [分野別情報](#) > [森林×ACTチャレンジ](#) > [森林×ACTチャレンジ2024](#)

森林×ACT（アクト）チャレンジ2024



[募集内容](#)

[表彰方法](#)

[メリット](#)

[応募方法](#)

[よくあるご質問](#)

森林×ACT（アクト）チャレンジとは

日本の国土の約3分の2は森林が占め、これらを適切に整備・保全することは、CO2吸収量の確保や強化につながり、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献します。また、生物多様性保全といった公益的機能を発揮させる上でも重要です。

SDGsやESG投資への関心が高まる中、民間企業や団体等（以下「企業等」という。）による森林づくり活動や森林由来J-クレジット（注）の活用が広がっています。民間の活力を活かした森林づくり活動は、森林整備による気候変動対策や生物多様性保全を国民運動として展開する上で重要です。

このため、林野庁では、森林の適切な整備・保全に貢献する企業等の優れた取組を顕彰する「森林×ACTチャレンジ2024」の募集を開始しました。

以下の募集内容をご参照の上、奮ってご応募ください！

>（注）J-クレジット制度及びJ-VER制度の森林管理プロジェクトにおいて認証されたクレジット



募集フライヤー(PDF: 1,031KB)

募集内容

1.森林づくり部門

令和4年度及び令和5年度の間に企業等が支援等をして行った造林・保育などの森林整備について、以下の2点を募集します。

1.整備した森林に係る1年間のCO2吸収量

企業等が支援等をして整備した森林の1年間のCO2吸収量

注意：林野庁長官通知に記載された算定方法に基づき、応募者が算定します。

「森林による二酸化炭素吸収量の算定方法について」（令和3年12月27日付け3林政企第60号林野庁長官通知）

また、都府県で実施されている独自のCO2吸収量の認証制度等で算定された吸収量を用いて応募いただくことも可能です。

2.森林整備の取組内容

1に係る森林整備に関する以下の内容

森林整備に取り組む背景、目的

森林の循環利用への貢献

山村地域の振興への貢献

生物多様性保全への貢献

その他公益的機能発揮への貢献

2.J-クレジット部門

令和4年度及び令和5年度の間に企業等が無効化した森林由来J-クレジットについて、以下の2点を募集します。

1.無効化したJ-クレジット量（CO2吸収量）

J-クレジット登録簿システムから入手可能な無効化通知書に記載のある、一つのプロジェクトに由来するJ-クレジット量（CO2吸収量）

2.無効化したJ-クレジットの活用内容・効果

1に係る森林由来J-クレジットに関する以下の内容

森林由来J-クレジット選択の理由・目的

クレジットの活用方法・計画等

クレジット購入による森林整備等への貢献

〃（特に、生物多様性保全への貢献）

クレジット購入をきっかけとした森林・林業や地域の課題解決への貢献

応募資格

両部門とも、法人、団体、個人、地方公共団体であることとします。

表彰方法

両部門の募集内容のうち、

1-1、2-1については、林野庁で確認を行います。

1-2、2-2については、外部有識者による審査委員会において、審査基準に基づき審査を行います。



[森林×ACTチャレンジ2024審査基準\(PDF：294KB\)](#)

上記の結果を総合的に踏まえ、以下のとおり受賞者を選定し、表彰を行います。

グランプリ（農林水産大臣賞）：全ての応募者のうち1件

優秀賞（林野庁長官賞）：12件以内（森林づくり部門で9件以内、J-クレジット部門で3件以内）

審査委員会委員（五十音順）

青木 亮輔氏（株式会社東京チェンソーズ 代表取締役）

榎堀 都氏（一般社団法人CDP Worldwide-Japan アソシエイト・ディレクター）

小寺 徹氏（一般社団法人CSV開発機構 専務理事）

龍原 哲氏（東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授）

皆川 芳嗣氏（株式会社農林中金総合研究所 理事長）

応募のメリット

メリット1：グリーンパートナーマークで取組をPR！

森林づくり活動等を通じてカーボンニュートラルの実現や生物多様性保全に貢献する証として、「グリーンパートナーマーク」を取組のPRにご活用いただけます。

「グリーンパートナーマーク」の活用事例は、[こちら](#)

メリット2：林野庁が皆さまの取組を発信！

各応募者のCO2吸収量や取組内容等について、林野庁ウェブサイトやSNS及び各種広報媒体を通じ広く発信します。


メリット3：林野庁内に木製銘板を掲示！

さらに、各受賞者について、受賞者名とCO2吸収量を記載した木製銘板を林野庁庁舎内に設置します。





応募方法

実施要領をご覧の上、応募する部門の応募マニュアルの内容を参照し、以下の1から2の流れに沿って準備を進めてください。


 [森林×ACTチャレンジ2024実施要領\(PDF：628KB\)](#)

応募フォームから応募する場合

 [応募マニュアル<森林づくり部門>（応募フォーム）\(PDF：2,746KB\)](#)

 [応募マニュアル<J-クレジット部門>（応募フォーム）\(PDF：3,238KB\)](#)

農林水産省共通申請サービス（eMAFF）から応募する場合

 [応募マニュアル（eMAFF）\(PDF：3,507KB\)](#)

1. 応募様式・添付資料の準備





下表より必要な応募様式をダウンロードしてください。

実施要領及び応募マニュアルに沿って応募様式に必要事項を記入するとともに、その内容が確認できる資料や取組の意義等をアピールする添付資料(実施要領別表第4参照)をご準備ください。

なお、応募様式及び添付資料については、Word等のOfficeファイル、PDFファイル等の電子データでの準備をお願いします。

(注) 応募する部門によって応募様式が異なりますので、ご注意ください。

森林づくり部門

CO2吸収量	長官通知に基づく簡易な算定方法：A-a-ア	 応募様式第1号-1ファイル1(Excel：1,230KB)
	長官通知に基づく精緻な算定方法：A-a-イ	 応募様式第1号-1ファイル2(Excel：1,237KB)
	その他の算定方法：A-b、A-c、B、C	 応募様式第1号-1ファイル3(Excel：1,178KB)
森林整備の取組内容	 応募様式第1号-2(WORD：31KB)	

J-クレジット部門	
無効化したJ-クレジット量、活用内容・効果	 応募様式第2号(WORD：33KB)

2.応募申請

応募様式及び添付資料を作成しましたら、応募フォーム若しくはeMAFFより応募申請を行ってください。

応募申請の方法については、各応募マニュアルを参考にしてください。

応募フォームから応募する場合

森林づくり部門はこちら

[応募フォーム](#)

J-クレジット部門はこちら

[応募フォーム](#)

eMAFFで応募する場合

eMAFFはこちら
(応募する部門を選択)

[eMAFF申請ページ](#)

応募期間：令和6年4月15日（月曜日）から令和6年6月28日（金曜日）17時まで

応募に当たっての問い合わせはこちら

「募集内容や応募条件などへのご質問」「アップロードリンクの再発行（応募フォームにより応募される場合）」に関しては、こちらの問合せフォームからお問合せいただけます。

[お問合せフォームはこちら](#)

注意事項

応募者から提出された応募様式等に記載された情報については、応募者の許諾なく林野庁が二次利用することができるものとします。

以下の場合には、応募、表彰及びグリーンパートナーの登録を取り消す場合があります。

- (1)応募に当たり虚偽の申請を行った場合
- (2)実施要領、法令及び公序良俗に反した場合
- (3)その他林野庁が取消を妥当と判断した場合

一つの森林整備に関する取組を、「森林づくり部門」「J-クレジット部門」の両方の部門に応募することはできません。また、「森林×脱炭素チャレンジ2022」「森林×脱炭素チャレンジ2023」に応募した森林整備に関する取組を、「森林×ACTチャレンジ2024」において応募することはできません。

よくあるご質問

[共通](#)

[森林づくり部門](#)

[J-クレジット部門](#)

関連資料

[\(参考\)「森林による二酸化炭素吸収量の算定方法について」\(令和3年12月27日付け3林政企第60号林野庁長官通知\)\(PDF: 737KB\)](#)

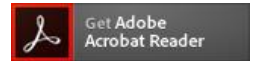
森林×ACTチャレンジTOP

お問合せ先

林政部企画課

担当者：林政部企画課
ダイヤルイン：03-3502-8036

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。



公式SNS



[関連リンク集](#)

[農林水産省
トップページへ](#)

林野庁

住所：〒100-8952 東京都千代田区霞が関1-2-1
電話：03-3502-8111（代表）[代表番号へのお電話について](#)
法人番号：4000012080002

[ご意見・お問い合わせ](#)

[アクセス・地図](#)

[サイトマップ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンクについて・著作権](#) [免責事項](#)

Copyright : Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

[このページ
の先頭へ](#)

企業等による森林づくり活動をカーボンニュートラルの実現、
生物多様性保全等の観点から顕彰します

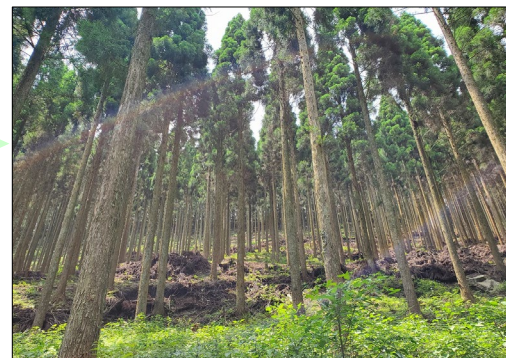


森林 × A C T チャレンジ2024 募集

2024.4.15 >>> 6.28

日本の国土の3分の2を占める森林を適切に整備・保全することは2050年カーボンニュートラルの実現や生物多様性の保全につながります。

このため、森林の適切な整備・保全に貢献する企業や団体等の優れた取組を顕彰し、更なる取組の拡大を図ります。



2023年グランプリ（農林水産大臣賞）
和の会/株式会社明和不動産/株式会社明和不動産管理/小国町（熊本県）/株式会社ATGREEN
クレジットを創出した小国杉の森林（熊本県小国町）

応募対象

令和4年度及び令和5年度に、以下の取組を行った企業・団体・個人・地方自治体

自ら又は支援をして森林整備に取り組んだ

森林由来J-クレジットを無効化した

森林づくり部門

< 募集内容 >

- ① 整備した森林の1年間のCO₂吸収量
- ② 森林整備に関する取組内容

J-クレジット部門

< 募集内容 >

- ① 無効化したJ-クレジット量（CO₂吸収量）
- ② 無効化したJ-クレジットに関する活用内容・効果

外部有識者による審査委員会において受賞者を選定

表彰



グランプリ（農林水産大臣賞）

全応募者から1件

+



優秀賞（林野庁長官賞）

< 森林づくり部門 > < J-クレジット部門 >
9件以内 3件以内

応募のメリット

メリット
01

マークで自社の
取組をPR!

森林づくり活動等を通じてカーボンニュートラルの実現、生物多様性保全に貢献する証として「グリーンパートナーマーク」（左上の図）をPRにご使用いただけます。

メリット
02

林野庁が皆様の取組
を発信!

応募者のCO₂吸収量や取組内容等について、林野庁ウェブサイトやSNS及び各種広報媒体を通じ広く発信します。

メリット
03

林野庁内に
木製銘板を掲示!

さらに、グランプリ・優秀賞の受賞者は、林野庁庁舎内に応募者名とCO₂吸収量を刻印した木製銘板を設置します。

林野庁

具体的な募集内容は裏面へ! >>>

応募にあたっては、以下の内容を提出していただきます

森林づくり部門

応募者（単独応募）

森林整備を支援した者等

森林整備に対し、
・ 資金拠出などの金銭的支援
・ ボランティアなど人的支援
・ 資材の提供など物的支援
を実施した企業・団体等

所有林を自ら整備した
企業・団体等



森林整備

※請負や委託契約による森林整備について、
請負者や受託者は応募できません。

① 整備した森林の1年間のCO₂吸収量

林野庁長官通知の算定方法に基づき、応募者が自ら算定した吸収量
または、各都府県独自のCO₂吸収量の認証制度等で算定された吸収量

② 森林整備に関する取組内容

森林整備に取り組む背景・目的

- ・ 森林整備と、自社の事業内容や企業理念との関係
- ・ 企業等としてのカーボンニュートラルの実現や生物多様性の保全、SDGsに向けた森林づくりの考え方 など

森林の循環利用へ貢献しているか

- ・ 森林整備により産出された木材を有効活用し、山元への収益向上に貢献
- ・ 地域の林業事業者と協力して、再生林の低コスト化を実現 など

山村地域の振興に貢献しているか

- ・ 地域の事業者と協力し、森林資源を活用した地域内の経済循環を実現
- ・ 地域内外から参加者を招いた森林づくりイベントで、地域住民と交流
- ・ 地域の子ども達を対象とした自然体験や木育活動などの実施 など

生物多様性の保全に貢献しているか

- ・ 森林整備を通じた希少種が生息しやすい環境づくり
- ・ 機能低下が懸念される放置された里山林の整備 など

その他公益的機能発揮に貢献しているか

- ・ 森林空間を活用した森林環境教育、社員研修などの機会の創出
- ・ 文化財修復や伝統工芸品の材料を供給し、伝統文化の継承に貢献 など

審査項目
を追加

J-クレジット部門

応募者（連名応募）

クレジットの購入者(a)

温室効果ガスを排出する事業者
地域貢献に関心の高い企業等

オフセット
(無効化)

直接取引

or 仲介取引

クレジット 販売仲介事業者(c)

J-クレジット・プロバイダー、
金融機関等

クレジットの創出

プロジェクト実施者(b)

地方自治体、民間企業、
森林組合、林業公社等

※応募にあたっては、
①「a,b,c」、②「a,b」のいずれかとなります。

① 無効化した森林由来J-クレジット量

J-クレジット登録簿システムから入手可能な無効化通知書に記載のある、
一つのプロジェクトに由来するJ-クレジット量（CO₂吸収量）

② 無効化した森林由来J-クレジットに関する活用内容・効果

森林由来J-クレジットを選択した理由・目的

- ・ 森林整備と、自社の事業内容や企業理念、SDGs達成への取組との関係
- ・ J-クレジットの購入を通じて森林整備に貢献することへのコミットメント など

クレジットの活用方法・計画等

- ・ 自社の事業活動等における排出量をオフセット
- ・ オフセット付き商品等を販売し、消費者の温暖化対策への貢献を後押し
- ・ 毎年の森林整備を支援できるよう、継続的にクレジットを購入 など

クレジット購入による森林整備等への貢献

- ・ クレジット収入により、長年手つかずだった森林の間伐を実施
- ・ 収入が向上したことで、再生林や林業機械など新たな投資が可能に
- ・ 森林信託事業、ICT技術の導入など新たな取組をスタート など

(特に生物多様性保全への貢献)

- ・ 森林整備を通じた希少種が生息しやすい環境づくり
- ・ 機能低下が懸念される放置された里山林の整備 など

クレジット購入をきっかけとした森林・林業、地域への貢献

- ・ プロジェクト実施地域での社員研修やイベントの実施
- ・ プロジェクトで生産された木材を社屋や店舗で活用 など

審査項目
を追加



適切に整備・保全された
森林はSDGsの達成
に貢献します！

BUZZ MAFFでも紹介動画
を公開中。審査委員長から
のメッセージも！



応募方法の詳細はこちら。
昨年の受賞者の取組も
ご覧いただけます！



森林×ACTチャレンジ事務局（林野庁企画課）
Tel 03-3502-8036